

# 「平和教育…①沖縄修学旅行～文化祭でのステージ発表 と ②長崎修学旅行」

埼玉県立川越特別支援学校 高等部 土田謙次  
2010 (H22) 年7月21日製作

## 第1部 はじめに (自己紹介・学校紹介)

・私は、16年間中学校社会科の教師を勤めた後、肢体不自由養護学校に転勤し、現在は知的障害養護学校に勤務している。この実践は、前任校の埼玉県立和光南特別支援学校でのものである。  
・和光南特別支援学校のある和光市は、埼玉県の中でも一番南で、東京都練馬区と隣接している。学区は和光市の他7市に及び、生徒数は小学部から高等部まで243名、職員数は120名という大規模校である。



・その中で、私の所属する高3は、生徒25人、教員10人という比較的少人数で、生徒の障害の程度も比較的軽い生徒が多く、職員間の意思疎通も、2年生からの持ち上がりの教員も多い、という恵まれた環境であった。

### \*自分の実践のねらい (どういうテーマで、どのような実践をしようとしたのか) や課題

・私は今回初めて歴教協のレポートを書いたのだが、正直言って、この実践は上記のようなテーマやねらいを、しっかり意識的に持った上で行ったものではない。今考えるととてもラッキーな環境の中で、偶然このような実践になったという感じである。結果的には、事前学習で生徒たちに沖縄戦のことを学習させ、ひめゆりの塔で生き残りの方のお話を伺ったり、という平和学習をさせることができたり、この修学旅行をテーマにした文化祭でのステージ発表で、沖縄戦の恐ろしさを演じて、他の人に訴えることができた。だが、それは、私が偶然修学旅行の担当になったこと、3年前の元々の原案にひめゆりの塔が入っていたこと、事前学習で沖縄戦や基地の事を調べるグループの担当が自分であったこと、そしてステージの劇の原案を作った人が「沖縄戦」の場面を入れる余地を与えてくれた、等々今考えると信じられないくらい恵まれた環境にいたのである。

従って、もし「課題」を挙げるなら、この前任校でのラッキーな経験を生かして、現任校の修学旅行で、それがどれくらい実践できたか、にかかっているような気がする。(そのことについては、後で「第4部」で触れる)

## 第2部

### 1、沖縄修学旅行

#### (1) 旅行の概要

1. 期日	平成18年5月10日 (水) ～12日 (金)
2. 場所	沖縄県 宿泊先 「かりゆしビーチリゾートホテル」

3. 参加人数 生徒26名 教員13名 計39名
4. ねらい
- ・沖縄県の自然・歴史・文化に触れ見聞を広げる。
  - ・高校生活最後の旅行で友情を深め、楽しい思い出を作る。
  - ・航空機等の公共交通機関やホテル等の公共施設の利用や集団生活、集団行動等のマナーを身につける。
5. 日程
- 1日目…9:30羽田発→ひめゆりの塔・平和記念資料館→グラスボート→ホテルへ
- 2日目…美ら海水族館→琉球村「エイサーショー見学」→ホテルでビーチ遊び
- 3日目…首里城・守礼の門→11:30那覇発→羽田空港解散

### (2) なぜ沖縄？ なぜひめゆりの塔？

- ・修学旅行で沖縄に行くこと、見学地の一つとしてひめゆりの塔・平和記念資料館に行くことは、高2の頃からほぼ決定していた。それは、学年主任が組合員で平和教育に一定の理解があり、学校全体としても組合員が多く、職員会議でも管理職の発言に対して、組合員であるなしに関わらず積極的に意見を言う教員が多かったという職場の雰囲気も背景にあったと思う。
- ・そういう背景の中で、高2の11月に自分がメインで修学旅行の担当となり、準備を進めていった。

### (3) 事前学習で平和教育を展開できた。

- ・事前学習は2年生の1月から開始した。やり方は、

◎沖縄についての学習を、課題別グループごとに行い、3月に「発表会」を持って、お互いに発表し、学びあう。

◎その分担は…

《1グループ》「ひめゆりの塔、平和祈念館」について…沖縄戦、ひめゆり部隊のことを含めて、「沖縄の歴史」「沖縄の現在」について、調べる。(琉球王国や日本との関係、現在の米軍基地の問題など)

《2グループ》「琉球村」について…エイサーや沖縄の年中行事などの伝統芸能や、食べ物、伝統工芸品、方言などの「沖縄の文化」について調べる。

《3グループ》「美ら海水族館」「首里城、守礼の門」について…「沖縄の美しい自然」(特に海と魚)や建築物(城＝グスク)について、調べたり、絵に描いたりする。(海以外の動植物等も含めてもよい)

◎どれくらいの時間をかけるか(以前の提案では2, 3時間)、調べ方、発表の仕方等は、各グループに任せる。

- ・中でも「平和学習」の中心となったのは《1グループ》

◎さらに3つの班に分かれて調べる。

		生徒	先生
1班	戦争より前の歴史(琉球王国や日本との関係など)。	Y川、Y浅、M田	A山T
2班	沖縄戦、ひめゆり部隊のことなど。	T我井、N川、K別府	土田
3班	現在の米軍基地の問題など。	F水、H瀬、I下	A藤T

◎調べ方

\*時間が限られているので、

- ・資料プリント、まとめのプリントは土田の方で用意する。

- ・資料プリントを読んで、まとめのプリントに記入し、それを模造紙に書く、という形にする。

- ・時間があれば、インターネット等で、映像資料等を探させる。

◎時間配分は

- ① 2 / 24 (金) 土田の方で、概要を説明 (PC→プロジェクターを使って)
- ② 2 / 27 (月) 1時間目 資料プリントを読んで、まとめのプリントに記入。  
必要な映像資料等をコピーして貼れるようにする。  
2時間目→でき次第、模造紙に書いていく。
- ③ 2 / 27 (月) 模造紙を完成させ、発表の仕方を工夫する。

(4) 実際にひめゆりの塔・平和記念資料館を見学した時の様子



・残念ながら感想文等はなし。

・E本君の様子

「ひめゆり平和祈念資料館で、生き残りの方のお話をじっと聞いていた。ビデオもよく見ていた。」

## 2、文化祭でのステージ発表「美ら海の宝」

### (1) シナリオの作り方

・もともとこの学校では、高3のステージは修学旅行の体験を生かしたものという暗黙の合意があった。そして高3の文化祭担当の教員の中で中心となるA藤Tの提案で、シナリオは、4部構成とし、1～3幕は、1～3の課題別グループで担当し、4幕は全員が登場して歌を歌ったりしてフィナーレとするという大枠が示された。そして、夏休み前に1～3の課題別グループの担当者が、自分のグループの生徒を想起しながら、できる劇のシナリオを考え、持ち寄ったシナリオをつなげて1つのものにするという方法を取った。

・土田は、その担当の1人だったので、1グループの部分のシナリオを考えることとなり、せっかく事前学習で沖縄戦のことを学び、ひめゆり平和祈念資料館での体験も生かしたいと考えてシナリオを作った。

### (2) 出来上がったシナリオはこんなもの → \*別紙プリント参照

・時間の関係もあり、初めは米軍兵士が拡声器で降伏を勧告し、それに応じようとした沖縄の住民を「非国民！」と叫んで日本の兵士が射殺するシーンも入れたのだが、カットされた。

### (3) 練習の様子

・どのグループの生徒たちも生かせる内容だったので、子ども達もよく頑張っていた。  
・1グループの生徒たちもはじめは声が小さくマイクに頼っていたが、次第にマイクなしでも大きな声が出るようになってきた。

### \*本番のステージのビデオ



### (4) 見てくれた人の感想

・他学年の教師から…とても良かった。感動した。

### 第3部 最後に 評価・反省

○今から思うと自分なりによくやったと思う。

×しかし、平和教育をした結果どうだったか？生徒たちの反応は？についての意識が弱く、その結果として記録が弱い。要するにやりっぱなしだった。従って、この反省を生かして、また実践しようという意識も弱かった。

\*でも歴教協参加を通じて、ようやく意識が高まったので、これからは生かしたい。次の川越特支高3の長崎修学旅行でどう生かすか？

### 第4部 現任の埼玉県立川越特別支援学校での、高3「長崎修学旅行」での平和教育の実践

#### (1) 旅行の概要

1. 期日 平成22年9月9日(木)～11日(土)
2. 場所 長崎県 宿泊先 「ハウステンボス JR 全日空ホテル」
3. 参加人数 生徒30名 教員17名 計47名
4. ねらい
  - ・学校生活のまとめとして自然や文化に触れながら楽しい思い出をつくる。
  - ・事前学習や旅行先での見学、体験を通して見聞を広げる。
  - ・交通機関や様々な施設を利用し、社会のルールやマナーを身につける。
  - ・長崎の原爆や戦争に関する平和学習を通じて、平和の大切さや平和を守るためにできることを知る。
5. 日程
  - 1日目…10:50羽田発→ハウステンボス見学→ホテルへ
  - 2日目…平和公園・原爆資料館→四海楼で昼食→中国歴代博物館で龍踊りの練習
  - 3日目…グラバー園・路面電車・新地中華街→14:50長崎発→羽田空港→バス

#### (2) なぜ長崎？ なぜ原爆資料館？

・本校の高等部の修学旅行は、経費節約の一環として「泊を伴う行事の实地踏査」をなるべくなくすべく、同じ目的地に行くという方向で、数年前から「北海道」と「長崎」から選択するということになっていた。(このことは必ずしも全教職員で決定したものではなく、現に来年度の修学旅行は新たに沖縄で、しかも3泊4日という方向性が出ている)そして、この学年では「長崎」に行くこと、見学地の一つとして平和公園・原爆資料館に行くということは、高2の頃からほぼ決定していた。この「長崎」「平和公園・原爆資料館」というラインは、本校の先輩達が「平和教育」という観点から実施してきたものと思われる。

・そういう背景の中で、高3の4月に自分が修学旅行の担当となり、準備を進めることとなった。

#### (3) 事前学習で行えた平和教育は…

・事前学習は3年生の6月と7月に行った。やり方は、(以下学年会資料より)

#### \*事前学習の全体像

##### (1) 全体で取り組む学習

- |      |   |            |                        |
|------|---|------------|------------------------|
| 第1回  | … | 5 / 14 (金) | 5校時=活動内容、生徒実行委員の募集     |
| 第2回  | … | 6 / 4 (金)  | 3校時=グループ調べ学習に向けて       |
| 第3回  | … | 7 / 8 (木)  | 2校時=グループ調べ学習の発表会①      |
|      |   | 9 (金)      | 2校時=グループ調べ学習の発表会②      |
| 第4回  | … | 8 / 20 (金) | 2校時=部屋割り、室長決め等         |
| 第5回  | … | 9 / ( )    | ?校時=直前指導               |
| 事後学習 | … | 9 / 15 (水) | 5校時=ビデオや目標達成できたか?→修了証! |

##### (2) 社会体験の平和学習に関わって

事前学習 … 7/9 (金) 5校時、7/12 (月) 2校時  
 社会体験学習 … 7/13 (火)  
 事後学習 … 7/14 (水)

**(3) グループで取り組む調べ学習**

[活動日] 6/11・16・18・25・30・7/2・7/7 (2h) … 計8時間  
 [グループ] 学習グループを基本に4つのグループに分けます。  
 リーダーは担当4名が担います。

[活動テーマ]

- |                      |          |           |
|----------------------|----------|-----------|
| ①長崎の原爆と平和            | 1 G 中心   | 担当 (M 先生) |
| ②長崎の歴史と地理            | 2 G 中心   | 担当 (土田)   |
| ③長崎の文化 (ハウステンボス、龍踊り) | 3・4 G 中心 | 担当 (T 先生) |
| ④長崎の食べ物とおみやげ         | 5 G 中心   | 担当 (I 先生) |

**(4) 生徒実行委員会**

[活動内容] 目標やルール of 検討・提案 しおり作成  
 事前学習の準備・進行 当日の活動 (開閉校式、朝の集い等)  
 [活動時間] 昼休みと放課後が中心です。

**\*主に平和教育に関して**

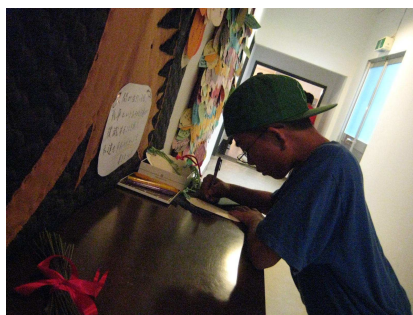
**(2) 社会体験の平和学習に関わって**

・全員が参加する学習として、

① 7/12 (月) の授業1時間を使って、埼玉県東松山市にある「埼玉県平和資料館」から「ピースキャラバン」という名称で、学芸員の方が学校まで来てくれて、埼玉県での戦争にまつわるアニメ映画の上映や、戦争中の学校の様子の写真パネルを見たり、本物の軍服、防空頭巾等に触れたりと言う平和学習をしていただけのもの。



② 7/13 (火) の1日を使って「社会体験学習」として、上記の「埼玉県平和資料館」と同じく東松山市にある「丸木美術館」を見学した。特に「平和資料館」での「最後の空襲くまがや」というアニメは「東京で大空襲にあい、親戚を頼って埼玉県熊谷市に疎開してきた幼い幸子が、親戚の家族に暖かく迎えられ、特に子ども達と楽しく遊べたのもつかの間、終戦の前日の8/14の空襲で、親戚の家族と離れ離れになり、一人犠牲になる」という物語で、全ての生徒たちがシーンとして見ていたのが印象的であった。



丸木美術館で見た絵は、  
 原はくの絵を見て、みんなが死んでいる絵を見て、とても心配だった。

**\* 「丸木美術館」と「平和資料館」を見学した生徒たちの感想文**

丸木美術館で見た絵は  
 原はくの絵を見て、こんなに人が死んで行く絵を見て、母と子どもが死んだ子どもがフギフギと死んで絵を見て私は大変ショックを受けました。||||| 勉強会になりました。

埼玉県平和資料館で体験したことは  
 ゴザリ〜ン  
 いろいろいろいろ体験した。  
 むかしの学校は  
 フクシマがある、行くにはあつた  
 サイバーがある。

埼玉県平和資料館で体験したことは  
 埼玉平和資料館  
 おんなの子が「おとうさんのうちにきました。おとこの子がけいこはくふたひねたはかばかしておとこの子がいこまいたなけてしまいました。またいそいでいそ  
 あいわりです。

### (3) グループで取り組む調べ学習

・これは普段行っている課題別学習グループ（5グループ）を、担当者が4人なので4グループに編成しなおし、理解度に応じて長崎の学習をするというもので、「平和学習班」を中心に、「長崎の地理・歴史班」でも内容の一部として原爆の被害について伝え、平和学習を行った。

①M先生が行った「平和学習班」の実践は…

(授業の概要)

【平和学習班】学習計画

H22 6/1

担当 M口

1 ねらい

- ①なぜ平和学習が必要か、現在の世界や日本について考える。
- ②長崎や被爆者が世界の平和に果たしている役割に気づく。
- ③自分たちができる平和活動について知る。

2 学習内容 (2週間を1サイクルとし①②③と④⑤⑥、前半の内容を復習しつつ後半でまとめていく)  
実態の応じて内容を削る

学 習	① なぜ平和学習が必要か ～長崎原爆投下と被爆者の 願い～	④	② 世界の現状と日本 ～世界に訴える被爆者～	⑤	③ 平和な世界をつくるために ～一人一人ができること～	⑥
	1、長崎修学旅行の事前学習としてなぜ平和学習をするのか？ 2、長崎の原爆投下の状況 ・ビデオ 視聴 →なぜ、被爆者は辛い体験を話すのか ・デジタル紙芝居 3、現在、日本や世界は平和か？ →「平和についてのアンケート」		4、アンケート発表とまとめ 5、たしかめてみよう～ ～世界の現状～ 紛争、子どもの兵士、地雷等の被害 大量破壊兵器（核弾頭）の数 ↓ 日本はなぜ戦争をしないのか 戦争の反省から「平和憲法」 戦争をしないこと、世界の平和の実現 に向けて全力を尽くすことを誓った。 6、一発の原爆の破壊力を伝える人たち ・世界に訴える被爆者		7、日本の役割 ・日本が侵略戦争を始め、たくさんのアジアの人たちを殺し苦しめた。 ・戦争で日本人も死に、苦しんだ。 ・戦争の反省と戦争をしない決意（憲法） 8 世界に発信～平和は長崎から～ ・被爆者は訴える ・若い人たちの平和学習や活動 9 感想を書く。 10 私たちにできること ・高校生1万人署名に協力する ・高校生1万本鉛筆運動に協力するなど	

(生徒の感想文等) → \* **別紙資料**

②土田が行った「長崎の地理・歴史班」の実践は…

(授業の概要)

1、ねらい

- ①長崎県、長崎市の地理や歴史について、ある程度のことを知る。
- ②そのことにより、修学旅行に対する期待を高める。
- ③日ごろ学習の機会のない「社会的学習内容」に触れる。
- ④内容の⑥で、平和学習も体験させる。

2、留意点

- ①実習でいない者がいるので、同じ内容を2回繰り返しつつ、発展させたい。
- ②話だけにならないように、できるだけ体験的・作業的活動を入れる。

3、内容

学習	①長崎県の日本一クイズ * <u>びわを食べてみよう。</u> ② <u>白地図に色を塗る。</u>	③長崎県の歴史クイズ ④ <u>武士の格好をしてみよう。</u>	⑤出島について ⑥長崎の原爆の絵本を読む。
⑦発表の準備 計7回			

(詳しい授業内容は…)プリントはしていませんが、ご希望があれば、土田の資料参照(「授業概要」と「パワーポイントのスライド集」)

(生徒の感想)

- ・(原爆のビデオを見て)「俺知ってるよ。(友達に)おいちゃんと見ろよ。皆殺しにするのはいけないよな。なんでそんなことするんだ」等と発言していた。

\*平和学習に使ったDVD「8・9ナガサキからの旅立ち(長崎市平和学習ビデオ)」をみてもらう。

## 第5部 川越特支での実践の評価・反省

### ○評価

- ・今回も色々ラッキーな面はあったが、それを生かして、子ども達に平和教育の実践の一助ができた。(①M口Tの「平和学習班」の授業の視聴覚資料(DVD)等を提供できた。②社会体験学習の「埼玉県平和資料館」の「ピースキャラバン」について、あらかじめ下見をして、担当の教員に助言できた。
- ・自分でも、M口Tとは違う「地理・歴史班」の授業の一環として、DVDや写真資料を使った平和教育の実践ができた。

### ×反省

- ・「地理・歴史班」の授業そのものの内容と妥当性はまた別の機会に、ぜひご意見を伺いたいが、平和教育として行った部分はどうか? こんなやり方もある、こうした方が良かった等のご意見を伺いたい。